

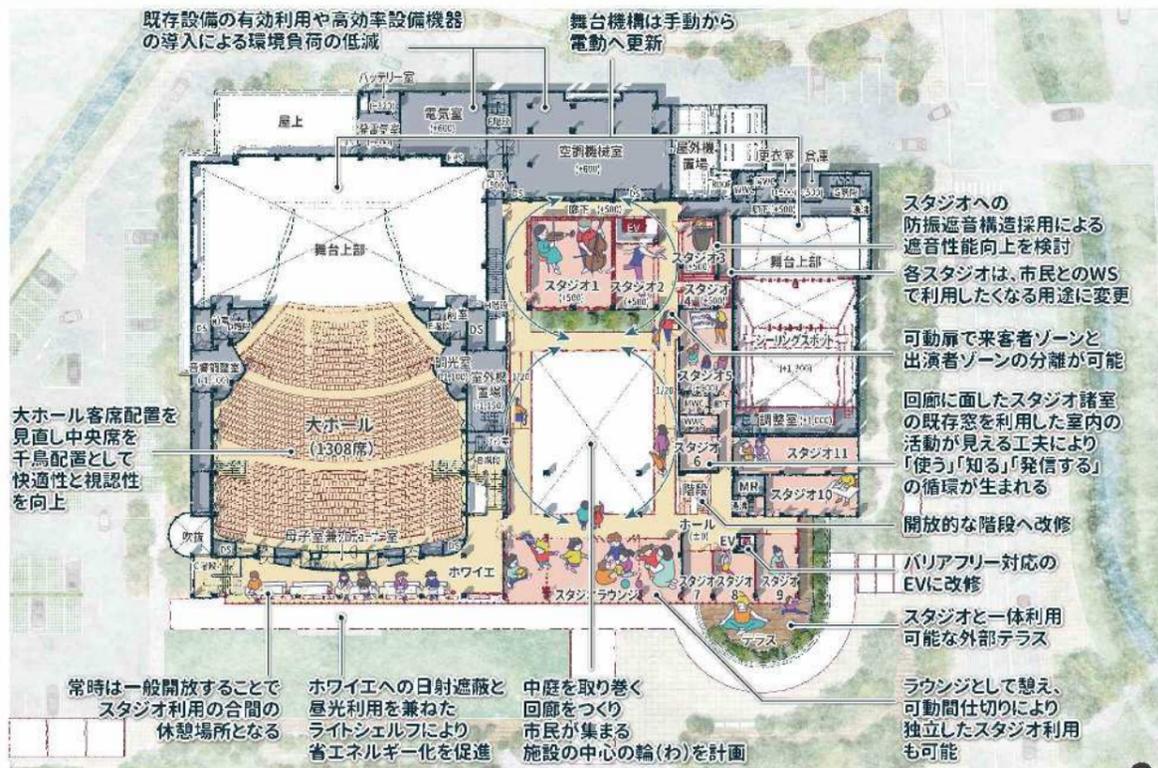
特定テーマ(4) 『まちの広場としての共用空間を実現するための方策』

(4-1) 共用空間の魅力化と周辺環境を含む空間の使い方のイメージ

多様な市民が気軽に使える、開放的で心地よいラウンジ
施設内は多様な市民が利用できる机や椅子、電源やWi-Fiの整備を行い、施設全体がカフェラウンジのような居心地の良い施設となるように整備します。

(4-2) 前庭の平面計画、交流ゾーン、周辺とのつながりに対する考え方

まちと施設をつなぐ、開かれた公園のような屋外広場
屋外広場は既存の回廊を撤去し、ライトシェルフにもなる新設する軒庇は屋内のように利用可能なアプローチとなります。



特定テーマ(5) 『概算工事費・工程・施工に関する方策および業務の進め方』

(5-1) 施工方法の提案

既存を活かし、賢くつくる改修計画
既存建物の構造・設備を最大限活用し、無駄の少ない合理的な改修工事を行う計画とします。

施工効率を考えた合理的な構造計画

屋内広場の大屋根は既存建物の構造躯体を最大限利用し、合理的な一体構造として計画します。

適切な工期と安心・安全な仮設計画の立案

弊社の施工技術チームと連携し、適切な工程を立案します。鉄骨や設備機器など納期を要するものは事前に調査し、工期に反映します。

(5-2) コストマネジメントの技術的方策

コストの見える化と客観的なコストマネジメント

設計段階から弊社独自の積算ツールを活用し、多頻度の積算実施による予算管理を徹底、改修費用を明確化することでコストが見える化するなど、調整を円滑に進めます。

各工事の優先順位を明確にしながら、合理的にコストを調整します。

Table showing cost breakdown for construction work. Total estimated cost is 54.5 billion yen. Breakdown includes building (35%), electrical (13%), mechanical (11%), stage special (28%), and exterior (13%).

(5-3) 外壁調査、配管劣化調査、特定天井調査について、工事費削減に向けた具体的な調査方法

安全かつ合理的な改修手法を見極める調査

改修工事では、施工過程で予想外の問題が発生することがあるため、設計の初期段階で徹底的に事前調査を行い、潜在的な問題を早めに把握します。

- 外壁調査: ロープアクセスや高所作業車を使用した近接目視・打診...
配管劣化調査: エックス線調査や管内カメラ、超音波調査を用いた目視...
特定天井調査: 現地調査を基本とした既存天井の健全性確認、および地震時の衝撃荷重計算に対応した安全性の確認。

(5-4) 維持管理コストの軽減方法

設備・建材・運用の最適化で、環境負荷とコスト軽減を実現
設備機器の高効率化や熱源運転方法などの運用提案による、省エネルギー化を実現するなど、ZEB化を検討します。

